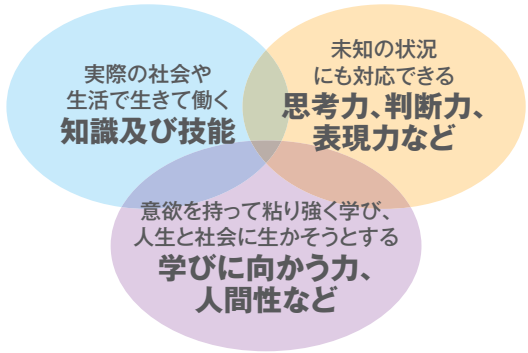


1 敦賀で育てたい子どもの姿

本市の教育目標「ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、心豊かで、健康な人の育成」の実現に向け、志を持ち、郷土の発展に貢献する活力ある人材を育てます。

学校での学びが自らの生き方や社会に生きるよう、**三つの力をバランスよく育みます。**



知 **学びを通して考える力**

- ◆ 学びの芽生えを育み、学びにつなげる教育
- ◆ 学びを通して考え行動する力を身につける教育
- ◆ 社会のグローバル化に対応する外国語教育

徳 **内面を豊かにする力**

- ◆ ふるさと敦賀の先人から生き方を学ぶ教育
- ◆ 自他を思いやる道德教育
- ◆ きまりや約束を進んで守り、行動する力を育む教育

体 **たくましく生きる力**

- ◆ 運動を楽しみ、すすんで体力づくりをする力を育てる体育教育
- ◆ 健康に関心を持ち、正しい生活習慣を身につける健康教育・食育
- ◆ 自分の命を自分で守る判断力・行動力を育む安全教育

世界中の人とかかわりながら自分の能力を発揮する人に

個別最適な学び

一人一人の興味関心や学習進度等に応じた学習活動や学習課題に取り組むことで、最適な学習となるよう自ら調整しながら粘り強く取り組む態度を育てます。

それぞれの学びを往還

協働的な学び

多様な他者と協働しながら、一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出します。

2 小中一貫教育

すべての中学校区で、9年間の「学びと育ちのつながり」を意識した小中一貫教育を行っています。県内初の試みとして、令和2年度には東浦小・中学校が小規模特認校制度を導入し、令和3年度には角鹿小中学校が施設一体型の小中一貫校として開校しました。

小中合同での授業や行事などの日常的交流

併設型(小規模)

小規模特認校の東浦小・中学校では、少人数によるきめ細かな指導を行います。



小中がお互いに乗り入れて授業をすることにより、子どもたちの理解度が増えています。

一体型(中規模)

施設一体型の角鹿小中学校では、小中学校の先生がそれぞれの持ち味を生かし、連携して授業を行います。



中学生が小学生に読み聞かせや実験のサポートを行うなど、施設一体型ならではの活動

小中が情報を共有し、話し合うことで、指導の一貫性をもたせています。

分離型(大規模)

気比・松陵・粟野それぞれの中学校区では、小学校と中学校、また、小学校どうしが連携して、交流授業等を行います。



オンラインでの交流授業や、中学校の先生による専門性を生かした授業



- ◇ 学習内容の系統性や発展性、学ぶ意義を実感
- ◇ つまずきを乗り越え、「わかる・できる」を実感
- ◇ 多様な考え方に触れ、ともに成長する喜びを実感
 - ◆ 意欲的・主体的に学び、確かな学力を身につけた子ども
 - ◆ 見通しを持ち、自らの学びを調整する子ども
 - ◆ やさしさやリーダーシップ・フォロワーシップを発揮できる子ども

